

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2010・10・1 No.222 発行／〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
http://www.kodomo-no-shiro.jp

第11回全国児童館おりがみ作品展 11月11～28日／〔こどもの城〕ギャラリー

第11回「全国児童館おりがみ作品展」が、11月11～28日に〔こどもの城〕ギャラリーで開かれます（15、22日は休館）。今回のテーマは「むかしばなし」。だれもが知っている



地域の人と力あわせ 岩手の昔話“はなさかじいさん”

洋野町の「種市放課後児童クラブ ドリーむキャンパス」の子どもたちは、夏休み最後の日にあたる8月17日、近くの「洋野町種市デイ・サービスセンター」を訪問しました。絵本の読み語りをしたり、折り紙をしたり、子どもたちのパフォーマンスをとおして、お年寄りとお交流しました。

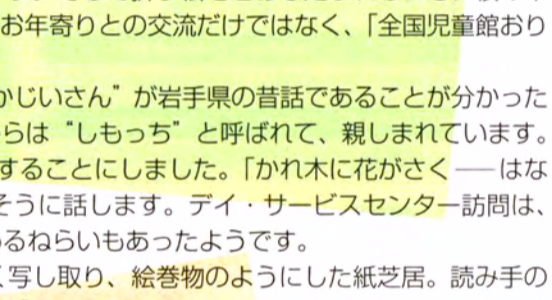
読み語りをした絵本のタイトルは「はなさかじいさん」。だれもが知っている昔話ですが、これは岩手県に伝えられている昔話をもとになっています。そして折り紙をとおしたふれあいも、桜の木

を作ることがテーマ。サービスセンター訪問は、お年寄りとの交流だけではなく、「全国児童館おりがみ作品展」とも関係しているようです。

「調べていたら、だれも知っている「はなさかじいさん」が岩手県の昔話であることが分かったんです」と指導員の下田定子さん。子どもたちからは「しもっち」と呼ばれて、親しまれています。「はなさかじいさん」をテーマにした作品作りをすることにしました。「かれ木に花がさく——はなやかで、きれいな作品になりそう」と、うれしそうに話します。デイ・サービスセンター訪問は、作品作りをむけて子どもたちの「やる気」を高めるねらいもあったようです。

90cmはのしょうじ紙に、絵本の絵を大きく写し取り、絵巻物のようにした紙芝居。読み手のはやさにあわせて、巻き取っていきます。「しもっち」と小学1年生の女の子が読み手。ゆっくりと、大きな声で読んでいくと、お年寄りのみなさんもしっかりと耳をかたむけて、最後まで聞いてくれました。

続いて折り紙。子どもたちは、お年寄りに折り紙を配り、桜のはなびらを折ります。折り方が分からない人には、子どもたちが優しくいねいに教えます。孫を見守るようなやさしいまなざしで、子どもたちの説明を聞いていました。最後に、用意してきた大きな画用紙（幹と枝だけ作ってある）に、みんなが作った花びらをはりつけて、満開の桜の木を完成させました。



折り紙きっかけに“わ(和・輪)”広げる

夏休みも終わり、子どもたちがふだんのペースを取りもどしてから、いよいよ本格的に作品作りにとりかかります。「みんなで折り紙を折ると、同じものがたくさんできます。たくさん使うものは、みんなで作ればいいけど、おじいさんやおばあさん一つあればよいので、オーディションをしたら、興味のある子が作るとか、これから考えていきたい」と下田さんは話しています。

「使わなかったものは、お話もつけて自分だけの折り紙作品を作ろうと思います。巡回展のときに、一人ひとりの子どもたちの作品としてあわせて展示したいので……」。

下田さんは続けます。「洋野町では、地区ごとにお年寄りの会があって、毎月集まっています。そこに子どもたちと出かけて行って、桜の木などのパーツをいっしょに作って、作品のなかに組み込んでいきたい。みんなで折り紙作品を作るだけではなく、作る過程で地域との交流をはかるなど、折り紙をきっかけに地域との「わ(和・輪)」を広げていこうと考えています。

■種市放課後児童クラブ ドリーむキャンパス
岩手県の北東部に位置する洋野町。三陸海岸の北端にあたり、北は青森県に接しています。町役場や図書館などが並ぶ町の中心部に「勤労青少年ホーム」の一室に「種市放課後児童クラブ ドリーむキャンパス」があります。青少年が使用していない時には、体育室、図書室、調理室なども子どもたちが利用しています。野外の遊び場として、保護者や地域の人といっしょに作った「夢基地公園」が、山側へ数分歩いたところにあります。開館時間は、月～金曜日が13時～18時30分。土曜日と夏休みなどの長期休みの期間は、8時～18時30分。日曜日と祝日、お盆、年末年始が休館日。敬老の日など、年数回は近隣の施設へ出かけてお年寄りとおふれあうなど、地域との交流を大切にしています。

第11回「全国児童館おりがみ作品展」参加館(順不同)

- 立体作品 札幌市丘珠ひばり児童会館／種市放課後児童クラブドリーむキャンパス(岩手県)／福島市野田児童センター／ふじみの市立児童センター(埼玉県)／川崎市二子子ども文化センター／伊勢市明照児童館(三重県)／東近江市立あかね児童館(滋賀県)／京都市大塚児童館／姫路市北児童センター(兵庫県)／伊予市児童館あすなろ(愛媛県)／宗像ユリックス(福岡県)／キッズランド児童館(鹿児島県)
- 壁画作品 札幌市ひのまる児童会館／聖石町児童館(岩手県)／秋田市すくすく学童クラブ／守谷市北守谷児童センター(茨城県)／くまもともの国／福井市すずきこ児童館／大山市城東児童センター(岐阜県)／京都市久我の杜児童館／神戸市総合児童センター べっこランド／出雲町三成児童館(島根県)／山口県児童センター／えひめこどもの城
- 写真作品 札幌市屯田児童会館／同・豊園小ミニ児童会館／同・中の島児童会館

むかしばなし

27 全国各地から
作品大集合

昔話、地域に伝わる昔話などを折り紙で、作品にしてもらいました。各地の児童館・児童センターに集まる子どもたちが作った折り紙作品24点(立体12点、壁画12点)と写真で参加する写真作品3点の計27作品を展示します。〔こどもの城〕で展示したのち、来年の6月ごろまで、全国を巡回展示する予定です。

今回は、「種市放課後児童クラブ ドリーむキャンパス」(岩手県)と「守谷市北守谷児童センター キ・ターレ」(茨城県)を訪れ、制作しているようすを取材しました。

守谷市ゆかりの“平将門” 図書館やネットで調べました

今回のテーマは「むかしばなし」。みんなが知っている昔話にするか、住んでいる場所に親しむを持ってもらうように地元に伝わる昔話にするか——相談することから始めました。話しているうちに、子どもたちが地元の昔話を知らないということに気づきました。ニュータウンの一角にある児童センターということもあるのかもしれない。まず地元の昔話を集めることにしました。

守谷市の周辺は下総国相馬郡とよばれ、平将門ゆかりの地。言い伝えや遺跡が残っています。「守谷」の地名も、この地に将門が城を築いたとき、地形的に「守るに易(やさ)しき谷」だったことから「守谷」になったという説があるほどです。子どもたちは、歴史の本やインターネットをとおして、平将門のことを調べることにしました。お父さんやお母さんにも聞いてみました。



平将門の生涯は、分からないことが多い。調べるのは苦労したようです。一般的には平将門の乱、首の伝説などで知られていますが、守谷市のある下総国では、混乱をおさめ、荒れた土地をきりひらいて農民のためによい国を作ろうとした人として尊敬を集めています。弓の名人だったことなども分かりました。出品する折り紙作品のテーマは、守谷市ゆかりの「平将門」にすることにしました。



調べていく過程で、将門の絵姿なども手に入れることができました。それをもとに、作品をデザイン。今回は壁画作品なので、「押し絵はごいた」風の、馬にまたがった、いさまじい将門像にすることにしました。馬や将門の形に切りぬいた、うすいスチロールの板に、折り紙で作ったパーツを組み合わせてはりつけていきます。できあがった馬と将門を、重ね合わせるように台紙にはりつけて完成。仕上がりを考えて、さまざまな色の折り紙を用意しました。茶、緑といったも、こい色からうすい色まで何種類もの折り紙があります。千代紙など、もよりの入った紙も使いました。いろいろな色を調べて、みんなで話しあってきたので、できあがりのイメージがみんなの頭のなかでできているようです。

「お父さん、お母さんにも話を聞きました」
作っているのは、夏休みに開かれた「おりがみ教室」のメンバー。小2～5の女の子たち10人が、8月の毎週水曜日に来たて活動。「手」も動きますが、同時に「口」も動く元気な子どもたち。お父さん、お母さんに聞いてきたこと、調べたことなどを話題にしながら作品作り。取材に訪れた8月25日は、最後の活動日でしたが、ようやく馬の形ができた段階。台紙にのせてながめてみると、馬が浮かび上がって見えます。子どもたちは思わず「オー」と喜びの声をあげていました。

仕上げは9月に入ってから。「おりがみ教室」は終わっていますが、時間を作って集まって完成させる予定です。「家で家族に話しを聞いたり、パソコンや図書館で調べたり——自分たちでなにかを“調べる”きっかけになりました」とスタッフの市毛美希さん。作品を作るまでのできごと大切にしていきます。「家庭での会話が少なくなっています。「昔話」や「平将門」がきっかけになって、会話ははずむのはよいことではないでしょうか」。

児童福祉施設給食用 スキムミルク

スキムミルクはこんなにすぐれています。

- 子どもの発育に欠かせないたんぱく質、ビタミンB2を多く含んでいます。
- 不足しやすいカルシウムが多く、消化吸収がよいものです。
- 保存性が高く、飲料・料理に幅広く利用できます。

子どもたちの健康づくりに

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から脂肪分(バター)を取り除いてつくります。スキムミルクの大きな特徴は、乳脂肪が極めて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも様々なお菓子づくりなどにも幅広く活用していただけます。

さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品としても高く評価されています。

大人だけではなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪、低エネルギーのスキムミルクを上手に給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お申し込み 03-3591-3245
お問い合わせ TEL 03-3591-3245

財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216

ニュージーランドの良質な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入することにより、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。



愛知県児童総合センターの遊びの活動から “なんだかうれしい！ひろがるあそび”を実習

55人が参加して子育て支援講習会(実技編)開く

平成22年度子育て支援講習会(実技編)「保育室で使える遊びのメニュー」が、定員を上回る55人が参加して、8月28日に開かれました。「なんだかうれしい！ひろがるあそび」愛知県児童総合センターの遊びの活動から〜のテーマで、講義と遊びの実際を体験しました。講師は、愛知県児童総合センター顧問の田嶋茂典さんと事業課主任の牛田康弘さん。

講義では、遊びを豊かに展開するための“こだわり”——遊びのテーマは身近なところから、おみやげよりは思い出、効率や効果だけを優先

しない、魅力的な遊びのルール、大人が楽しいと子どもはうれしい——を大切に、アートと遊びと子どもをつなぐプログラム作りをしていると、活動事例を紹介しながら解説。

午後は、遊びの体験《土で遊ぶ》と《つくってあそぶ》。粘土のプログラムでは、ギュッと握ったときにできる偶然の形を楽しむ「にぎったかたち」、ホタテなどの“音”をおもいおもいの形にする「音のカチ」など、実際に遊びのプ

ログラムを体験。一つひとつの形のおもしろさ、たくさん並んだときの楽しさと一つひとつの個性——なんだかうれしくなり、遊びがひろがっていきます。

参加者は、童心にかえって、アートと遊びが結びついた活動を体験しました(写真)。



10月30日にこどもの城小児保健セミナー 「多様化する親子へのかかわり方〜話の聴き方・伝え方〜」

子育て支援の現場に携わる専門職を対象に[こどもの城]で

開館25周年記念第25回こどもの城小児保健セミナー「多様化する親子へのかかわり方〜話の聴き方・伝え方〜」が、10月30日(10時〜16時45分)に、子育て支援の現場に携わる専門職を対象に[こどもの城]研修室で開かれます。

子育て支援にあたっては、保護者とのよい関係を作ることが大切です

が、家庭のあり方が多様化して、保護者との関係を作ること自体が難しく、より配慮を必要とすることが多くなっています。そこで、保護者の気になる言動のとらえ方・対処の仕方、話の聴き方や伝え方などを取り上げ、小児保健セミナーで学んでいきます。

セミナーの内容は次のとおり。[わ

かりやすい伝え方・聴き方(中川信子さん:子どもの発達支援を考えるSTの会・言語聴覚士)／「親との人間関係を円滑にするコミュニケーション・マナー」(萩原久美子さん:ハーティス・コンサルタンツ(株))／「親の心の問題への対応」(宮本信也:筑波大学大学院人間総合科学研究科教授・小児科医師)。

定員100人。先着順に受け付け中。受講料は7,000円。

お問い合わせ・お申し込みは、小児保健部(03-3797-5667)へ。

平成23年度「幼児グループ」メンバー募集中

保育研究開発部では、平成23年度の「幼児グループ」のメンバーを募集しています。

幼児グループは、[こどもの城]を保育の場とし、週4日(火・金曜日、10時〜14時)、2年間にわたって継続的に活動する4・5歳児の保育グループです。「保育クラブ」

の主に3歳児が加わり、少人数の異年齢混合(3〜5歳児)で活動します。

【募集対象・人数】新4歳児(平成18年4月2日〜19年4月1日生まれ):12人/新5歳児:本年度は募集しません。

【募集要項】申し込み希望の方は、

必ず見学説明会(10月6、12、14、20日。いずれも10時30分〜11時30分。電話予約が必要)にご参加のうえ、ご応募ください。

応募用紙は、見学説明会終了後に配付します。詳細は、お問い合わせください。

【お問い合わせ】保育研究開発部「幼児グループ」係(03-3797-5669)。

第46回バンパー大会開く 岩城さん(小学生の部)、石島さん(中高生の部)が優勝

第46回バンパー大会が、夏休み最後の日曜日、8月29日にプレイホールで開かれ、小学生の部5人、中高生の部3人が参加して熱戦を繰り広げました。小学生の部は2ゲームずつ対戦する総当たりのリーグ戦、中高生の部は4ゲームずつ対戦する長丁場のリーグ戦を行い、それぞれの優勝決定戦を行いました。大会の結果は下記のとおり(敬称略)。

小学生の部優勝:岩城正珠(小6)／準優勝:勅使河原未来(小5)

中高生の部優勝:石島響(高1)

【お楽しみ】「こどもの城」体育講座の受講生が、夏休み特別期間中に各地で開かれた大会に参加して、優秀な成績をおさめました。

■第7回ジュニア・ライフセービング競技会■チーム種目の「スイムリレー」(小学生の部)に出場したこどもの城チーム(後藤健斗さん、藤澤優樹さん、武村知旺さん=小6)が第3位に入賞。個人種目のビーチフラッグスでは、小学5・6年生男子の部で後藤健斗さんが第3位に入賞しました。

(8月22日/片瀬東浜海岸:神奈川県藤沢市)

■平成22年度渋谷区民水泳大会■中学1年生男子100m平泳ぎで佃創司さん、小学4年生男子50m平泳ぎで青山ウィリアム龍太郎さんがそれぞれ大会新記録で第1位になりました。佃さんは50mバタフライで第2位、青山さんは50m自由形でも第1位になりました。また、芳賀明央さんが小学1年生男子50mバタフライと平泳ぎの2部門で第3位に、芳賀恭子さんが小学5年生女子50m自由形で第2位、50m平泳ぎで第3位、青山マシュー真二郎さんが小学3年生男子50mの自由形と平泳ぎの2部門で第1位に入賞しました。

(8月29日/渋谷区民センター・東京都)

冬のキャンプ 参加者募集! 企画研修部 03-3797-5675へ

仲間と、冬の自然と、遊ぼう!

「こどもの城」では、冬休みにスキーや雪遊びを楽しむ野外活動を行います。仲間との出会いを大切にしながら、仲間との絆を深め、自然の恵みを感じながら、楽しい思い出を作ります。参加申し込みは、企画研修部へ。

【スキースクール パートI】
初心者から上級者まで、レベルに合わせてスキーレッスン。
①1期
12月26〜29日/小2〜中3/45人/北志賀高原まぜ温泉スキー場(新潟県)/58,000円
②2期
平成23年1月4〜7日/小2〜中3/45人/ニュー・グリーンピア津南(新潟県)/小学生58,000円・中学生62,000円(いずれも予定)
※10月28日正午から電話で先着順に受け付け

【ゆきさん冒険団】
冬の大自然を舞台に雪遊び、グループ生活をとおして仲間作り。
12月25〜28日/小1〜3/70人/国立那須甲子青少年自然の家(福島県)/39,000円
※11月2日正午から電話で先着順に受け付け

【お楽しみ】「こどもの城」体育講座の受講生が、夏休み特別期間中に各地で開かれた大会に参加して、優秀な成績をおさめました。

■第7回ジュニア・ライフセービング競技会■チーム種目の「スイムリレー」(小学生の部)に出場したこどもの城チーム(後藤健斗さん、藤澤優樹さん、武村知旺さん=小6)が第3位に入賞。個人種目のビーチフラッグスでは、小学5・6年生男子の部で後藤健斗さんが第3位に入賞しました。

(8月22日/片瀬東浜海岸:神奈川県藤沢市)

■平成22年度渋谷区民水泳大会■中学1年生男子100m平泳ぎで佃創司さん、小学4年生男子50m平泳ぎで青山ウィリアム龍太郎さんがそれぞれ大会新記録で第1位になりました。佃さんは50mバタフライで第2位、青山さんは50m自由形でも第1位になりました。また、芳賀明央さんが小学1年生男子50mバタフライと平泳ぎの2部門で第3位に、芳賀恭子さんが小学5年生女子50m自由形で第2位、50m平泳ぎで第3位、青山マシュー真二郎さんが小学3年生男子50mの自由形と平泳ぎの2部門で第1位に入賞しました。

(8月29日/渋谷区民センター・東京都)

■青山劇場 03-3797-5678 <http://www.aoyama.org>

青山劇場

●ブロードウェイミュージカル「Pal Joey (パル・ジョーイ)」
▽10月2〜17日▽SS席=12,000円、S席=11,000円、A席=9,500円
(問)0570-00-3337

●ブロードウェイ・ミュージカル「Wonderful Town」
▽10月23日〜11月4日▽SS席=12,000円、A席=10,000円、ワンダフルシート=

S席=7,500円、A席=6,000円
(問)03-3404-5288

青山円形劇場

●ミュージカル「今の私をカバンにつめて」
▽9月25日〜10月11日▽7,500円
(問)0570-00-3337

●BS-TBSプロデュース「ボテチ」
▽10月14〜24日▽6,000円(当日=6,500円)、24歳以下3,500円(当日=4,000円)
(問)0570-03-9999

【こどもの城】開館25周年記念特別期間(10月10日〜11月28日)に、選りすぐりの「遊びのプログラム」を紹介する「みんなあつまれ! チャレンジ25」を開催。10月のプログラムは下記のとおりです。

10月16・17日=パペットランド〜人形をつくってあそぼう〜
11:00〜16:30/プレイホール

10月30・31日=忍者マスター決定戦
11:00〜16:00/プレイホール

【こどもの城】は、ボランティアをはじめ、たくさんの人に支えられて活動。いろいろな人との出会いを大切にしています。

10月16・17日=こどもの城友の会によるフリーマーケット
12:30〜15:00/フリーホール

【素材との出会い展】「造形発見展」オープンスタジオ——いろいろな視点で、「造形遊び」のおもしろさを伝えていきます。

10月19〜24日=素材との出会い展のプログラムから「ペーパータウン」
10月23・24日=「竹・タケ・タケ」(小3〜/13:30〜16:00) 開館時間中/造形スタジオ

10月26〜31日=造形発見展のプログラムから「はんしやめがね」
10月30・31日=「ポンドタイク」(小3〜/13:30〜16:00) 開館時間中/造形スタジオ

「いろいろな音楽」に出会って、音楽の楽しさや心地よさを体験。仲間やスタッフと「音」をとおしてふれあいを楽しみます。

10月30・31日=うたってあそぶ〜ハッピーハロウィン〜
11:30、13:30、15:00(31日のみ)/音楽ロビー

11月4日に「赤ちゃん大集合」3か月〜1歳11か月の赤ちゃん保護者が対象

3か月〜1歳11か月の「赤ちゃん」とその保護者を対象に、親同士で子育てについておしゃべりしたり、歌遊び、手遊び、スキンシップ遊びなどさまざまな「親子遊び」を楽しんだりできる「赤ちゃん大集合」が、11月4日に開かれます。毎回たくさんのお母さんが参加する「赤ちゃんサロン」(月1・2回、火曜日)のスペシャル版のほか、赤ちゃんの発達にあわせた運動(スキンシップ)遊び、歌遊びや手遊びなど親子(幼児)向けのプログラムがいっぱい。

4日は木曜日で、開館時間は12時30分ですが、午前中からプログラムが行われる研修室と体育室は開館。10時からエントランスホールで受け付けを行います。

赤ちゃんサロンスペシャル(10時30分〜15時/9階研修室)
「赤ちゃんサロン」のスペシャル版。お母さん同士の楽しい話の場。小児科医師の「Dr.ゴロートク」(13時30分〜14時30分)もあります。小児科医師、保健師、管理栄養士、臨床心理士など、子育ての専門家のアドバイスも受けられます。

うたってパブリック(14時〜14時30分/音楽ロビー)
楽しい歌がいっぱい!!生バンドによる楽しいコンサート。

あそんでパブリック(14時30分〜15時/音楽ロビー)
親子で楽しく手遊び、歌遊びなど。めずらしい楽器の演奏も。

ビデオどうぶつえん(開館時間中/ビデオライブラリー)
動物ビデオが流れる「ビデオどうぶつえん」。

情報展示コーナー(11時30分〜15時30分/8階研修室)
ベビー用品の紹介。商品サンプルのプレゼントもあります。

おりがみあそび広場(14時30分〜15時30分/プレイホール)
女性ボランティアと折り紙を折って遊びます。

こころこころハイハイ

【こどもの城】開館25周年記念プログラム 11月7日には、こどもの城児童合唱団のコンサート

- こどもたちからのサウンドメッセージ〜スタートライン〜
●11月7日(13時/16時30分)
●青山劇場
- こどもの城児童合唱団の25周年記念コンサート。【こどもの城】で生まれたオリジナル曲と、100歳を超える詩人のまごみちおさんの作品を軸に構成。作曲家・ミュージシャンのクニ河内さんと、マリナー・パーカッション奏者の野田美佳さんをゲストに迎えます。S席2,500円、A席2,000円。
- 第25回造形スタジオ展
●10月19日〜11月7日
●造形スタジオ
開館から25年間にわたって、行ってきた1,200以上のプログラムのなかから、セレクトして展示します。
- 「戦後美術教育を考える〜野々目桂三を追って」展
●10月19日〜11月7日
●アトリウムギャラリー
映画「絵を描く子どもたち」の野々目桂三

「いきいき家族写真展〜かけがえのない、いま」作品募集中

10月15日締め切り 10月30日〜11月28日【こどもの城】で展示
※詳しくは、ホームページまたは企画研修部(03-3797-5675)までお問い合わせください。

おはなし人形劇場
日曜日・祝日 15時
人形劇による公演です。演じる人の息づかいが伝わってくる「生の人形劇」を親子で。月1〜2回、日曜・祝日に開催します。
10月11日:グリム・カンパニー「ぞっとしたい男」

プレイホールの催し

みんなのこころ広場
水曜日 15時
ボランティアによる人形劇、影絵、紙芝居の上演。手遊び、歌遊びも。

10月6日:紙芝居「あかしらうんどうかい」
13日:人形劇
20日:紙芝居「ためぎてがみ」
27日:影絵「さんまのおふだ」

おりがみあそび広場
水曜日 14時30分〜15時30分
女性ボランティアと折り紙遊び。

10月7日:なし
14日:さこ
21日:くり
28日:かぼちゃ

Bスタジオの催し

10月3日
手作りの楽器のワークショップ **かつこう笛**
13時30分〜14時、15時30分〜16時
ペットボトルのキャップを使って、「かつこう」の鳴き声のような音がする笛を作ります。幼児から参加できます。時間内随時受け付け。

10月17日
わいわいスタジオ **みんなで楽しむ草笛コンサート**
13時30分、15時30分
草や木の葉を使って音を出す「草笛」

で、みんなが知っているメロディを演奏します。草笛を作っている体験コーナーも。出演は、わいわい草笛団のみなさん。

おもしろビデオ館 金曜日 15時30分
親子で楽しむ「ミニビデオシアター」。2〜4歳向けの幼児向け作品を選んで上映。
(絵本と音読特集)
10月1日:くるんばのようちえん 一体さん
8日:おぼけのてんぷら クラゲの骨なし
15日:クリーンおぼさんとカニナリおぼさん わらしべ長者
22日:あおいめくろいめ ちやいろのめ ソラ豆の黒いすじ
29日:めがねうさぎ 分福茶釜

スクリーンに映し出された「映像」とふれあいが遊びます。0〜3歳児親子対象。
10月8、22日 13時45分〜14時15分

平成23年度「児童福祉週間」標語募集中(10月15日締め切り)

平成23年度第65回「児童福祉週間」標語を募集しています。子どもや家庭、子どもの健やかな成長のために、国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。その象徴となる標語です。

元気でがんばる子どもたちを応援するもの、子どもたちからの未来へのメッセージとなる標語を募集しています。

締め切りは10月15日(当日消印有効)。どなたでも応募できます。最優秀作(厚生労働大臣賞)には、表彰状・賞品および記念品が贈られるほか、第65回児童福祉週間標語として広報・啓発活動などに幅広く活用されます。主催は、厚生労働省(社福)全国社会福祉協議会(財)こども未来財団。

□応募方法□はがき、封書、ファックスのほか、インターネットでも応募できます。標語(自身で創作した未発表作品。用紙1枚に1点。何点でも応募可)のほか、住所(郵便番号)、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号を記入して、下記までお送りください。インターネットの場合は、こども未来財団ホームページ内の応募フォームをご利用ください。

□応募先□〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-1 西新橋T.Sビル8階(財)こども未来財団「標語募集」係

ファクス番号 03-6402-4830
<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/>

□選定方法□主催者による選定委員会にて選定。うち1点を最優秀作(厚生労働大臣賞)として選定。選定作品は、(財)こども未来財団ホームページ(報道発表資料)で、平成22年11月下旬に発表する予定。入賞者には、主催者から直接連絡します。

※応募者の個人情報は、主催者が管理し、標語募集事業運営の目的以外に使用することはありません。

【参考】過去5年間の標語=地球はね笑顔がつまった 星なんだ(22年度)／ありがとう つたわるところがうれい(21年度)／つたわるところをよめをあわせてはなしたら(20年度)／見つけよう みんながもっている いいところ(19年度)／大切だよ 信らうること されること(18年度)